

# 認知症の経過と利用できる支援について

認知症の原因となる病気やその人の状況により、経過やたどり方、利用できるサービスなどは異なりますので、大まかな目安としてください。（※利用基準が設けられているものがあります。）

認知症の経過	健康な状態	気づき～疑い 軽度認知障がい (MCI)	見守りがあれば 日常生活は自立 (軽度)	日常生活に 手助け・介護が必要 (中等度)	常に介護が必要 (高度)	
様子や 困りごと (例)		<input type="checkbox"/> 重要な約束を忘れることがある。 <input type="checkbox"/> 初めての土地への旅行や複雑な作業を行うときは、戸惑うことがある。 <input type="checkbox"/> 長く勤めた仕事や社会的活動からは退くこともある。	<input type="checkbox"/> 同じことを何回も言った り聞いたりする。 <input type="checkbox"/> 同じ物を繰り返し買って きてしまうことがある。 <input type="checkbox"/> 買い物の支払いで戸惑う ことがある。	<input type="checkbox"/> 買い物を1人ですることが できない。 <input type="checkbox"/> 季節にあった服が選べない。 <input type="checkbox"/> 入浴を忘れる。入浴するの に、説得が必要となる。	<input type="checkbox"/> 寝巻の上に普段着を着るなど 不適切な着衣をする。 <input type="checkbox"/> 入浴に介助を要する。入浴を嫌 がる。 <input type="checkbox"/> トイレの水を流せなくなる。 <input type="checkbox"/> トイレの失敗がみられる。	<input type="checkbox"/> 話し言葉は短くなり理解でき る言葉に限られる。 <input type="checkbox"/> 歩行障がいや運動障がいが見 られる。
相談	地域包括支援センター（認知症地域支援推進員） 介護支援専門員（ケア マネジャー） 医療機関（かかりつけ医）					
予防	仕事、趣味・特技を活かした活動へ参加 通いの場への参加（地域ふれあいサロン、高齢者クラブ） 健康づくり教室、介護予防教室、認知症カフェ					
見守り	地域	近隣住民、民生委員、認知症サポーター、ささえあいネット協力機関、かえるメールとよた登録者、認知症カフェ				
	本人 家族	行方不明への備え（徘徊高齢者・障がい者等事前登録制度、認知症高齢者等個人賠償責任保険、見守り安心マークの配布、徘徊高齢者検索機器（GPS）利用促進補助金、かえるメールとよた）				
生活支援 家族支援	本人	家庭内での役割の継続				
		日常生活の支援（シルバー人材センター） 配食サービス、認知症カフェ				
	家族	福祉電話訪問、緊急通報システム 権利擁護（成年後見制度）、日常生活自立支援事業 認知症カフェ 認知症介護家族会、家族介護交流事業、若年性認知症本人・家族会				
医療・介護	医療	いつもと違うと感じたら早めに（かかりつけ医、認知症サポート医、認知症疾患医療センター等）				
	介護	本人の状態や生活環境にあわせ、介護保険サービスを組み合わせる利用してください。（介護サービスの分類はP22を参照）				
住まい	自宅	住環境の整備（段差解消、手すり、浴室、トイレ、介護用ベッド、車いす等）、住宅改修、福祉用具の貸与（特定福祉用具の購入）				
	施設	高齢者向け住宅（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウス、シルバーハウジング）				
		家庭環境と地域交流のもとでの共同生活（認知症対応型共同生活介護（グループホーム）） 在宅生活を旨としたリハビリテーション（介護老人保健施設） 介護が受けられる施設（介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム））				